

仕掛け人が語る たまがる大道芸

観客と芸人が 一体になる生きた芸術

ネットじゃだめ。その場に居ないと伝わらない
街なかから始まる久留米の元気づくり

11月17日(土)、18日(日)に、久留米シティプラザを中心に、「久留米たまがる大道芸2018」を開催します。市と実行委員会が主催して5回目。西鉄久留米駅前から六ツ門まで、街なか

が劇場になります。路上、公園、広場などで23組が大道芸を披露。街のにぎわい、

シティブラザの活用、そして地域の元気づくりが目的です。仕掛け人で、大道芸プロデューサーの橋本隆雄さんに楽しみ方や目指すところを聞きました。

披露から始まりました。そこから、芝居や音楽演奏などさまざまな枝分かれしていきます。芸能の源流に触れることができるのが大道芸。曲芸、パントマイム、コント、芝居、演奏、いろいろな「芸」を、基本路上で披露します。世界中に大道芸人が居て、そんな人た

ちを集めた祭りが、各地で開かれています。

「橋本さんと大道芸の出会い」

フランスのアートフェスティバルですよ。大きな仕掛けでね、いろんな出し物がある。お客さんが大喜びする。当時、私は音楽や演劇のプロデュースをやっていました。チケットがうまく売れなくて赤字続きの中、「これだっ」と思いましたね。

その後、横浜の「野毛大道芸」を立ち上げることにあります。さまざまな出し物を選んで見る、今の祭りの形ができました。



今年のだまがる大道芸の全てが詰まったパンフレット。シティブラザなどで配布中。ホームページからもダウンロードできます



土曜の夜、六角堂にすべての芸人たちが集まり、観客と一体になる「夜会」(昨年の様子)

文化、交流の拠点こそ 大道芸の舞台

「久留米で始まったきっかけは
久留米シティプラザの開館の時、施設に市民が集まる仕掛けをしたと、市から依頼がありました。私は歴史が好きで、筑後川沿いの地域には特に思い入れがあったので即決しました。大河は交通の大事な手段で、大昔は内陸でも人や物や文化が盛んに行き交っていました。そんな交流拠点なのです。久留米市は。」

「なぜ、大道芸だったのですか
大道芸がシティブラザと市民の懸け橋になるという気持ちでやってきました。」

「お客さんは3mくらいの距離で芸を見る。すると芸人との間に強いコミュニケーションが生まれます。施設の周りに、一組一組が日常を超えた小さな演劇空間をつくり、それがシティブラザを再認識するきっかけになると思います。」

「お客さんは投げ銭というのをしますね
芸への賞賛の意味でお金を渡します。演技をしながら受け取れるよう、お客さんは入れ物にお金を投げ入れることから「投げ銭」と呼ばれます。久留米でもすっかり定着しましたね。」

「相場みたいなのはあ
るんですか
いくらでもいいんですよ。」

「お客さんは投げ銭とい
うのをしますね
芸への賞賛の意味でお金を渡します。演技をしながら受け取れるよう、お客さんは入れ物にお金を投げ入れることから「投げ銭」と呼ばれます。久留米でもすっかり定着しましたね。」

「久留米の元気につなげ
るにはどうしたら
仮に20万人が10000円ずつ使ったとしたら、2億円になります。商売の人は、この期間に欲を出してもいいんじゃないですか。商店街の元気が街の元気。人とお金が動く経済と文化が動きます。地元商店街の皆さんや幅広いボランティアなど市民が開催に本気で努力してくれています。その気持ちは強いですよ。」

「橋本さんの思いが芸人
を動かし、観客の感動につ
ながる、たまがる大道芸に
期待が高まります。
次ページで詳しい内容を
紹介。」

「お客さんは投げ銭とい
うのをしますね
芸への賞賛の意味でお金を渡します。演技をしながら受け取れるよう、お客さんは入れ物にお金を投げ入れることから「投げ銭」と呼ばれます。久留米でもすっかり定着しましたね。」

「お客さんは投げ銭とい
うのをしますね
芸への賞賛の意味でお金を渡します。演技をしながら受け取れるよう、お客さんは入れ物にお金を投げ入れることから「投げ銭」と呼ばれます。久留米でもすっかり定着しましたね。」

関わる人が ファンになって 輪が広がる



久留米たまがる大道芸実行委員長 原誠さん (ほとめき通り商店街会長)

市民の皆さんに楽しんで
もらえるよう、商店街を挙
げて取り組んでいます。
店舗の前や空きスペース
を提供。関わっている我々
が、まずファンになって、
うきうきしながらやろうと
話しています。開催中も、
店主はみんな頑張っって営
業しますよ。飲食店が増えて
いるので、商売に直結しま
す。他の店も、それぞれ、
商品やサービスをアピール
したい。要は組合全体で取
り組むのが大事。久留米の
名物にしたいと意気込んで
います。
ボランティアの皆さんも
活躍。芸人さんが街に繰り
出すお手伝いをします。大
道芸の輪をどんどん広げたい
です。



観客を引き込むと一体感も増す

「こっちで買った」。久留米をイメージしたTシャツ姿でシティブラザ南の路地に立つ橋本さん。「雰囲気のある路地が多いのも久留米の特徴。そんな舞台を将来はもっと使いたい」





■西原香織さん (小郡市)
 ライクラボ Like Lab 広報室長。同社代表からの誘いを受け、平成26年に入社し、テレワークを開始。会社では社会福祉士として従事。障害のある人の自立訓練で個別支援計画作成などを担う。自宅で出版物の作成やフェイスブックの投稿、データ整理などをこなす。昭和57(1982)年生まれ。

◆多様な働き方「テレワーク」に注目

通勤を無くして広がる可能性

働き手不足が深刻さを増す一方、子育て中の人や介護している人、高齢者、障害のある人など、働く上で制約がある人も居ます。国が進めている「働き方改革」の一つに「テレワーク」があります。インターネットなどを利用し、出社せず勤務するこの働き方は、企業の人材確保と働きやすい職場づくりを、同時に達成できるなどの面で注目されています。

出勤口を柔軟に調整

久留米市内で障害のある子どもから大人までの支援を行う「Like Lab」で働く西原香織さんも、テレワークを活用する一人です。重度の身体障害があり、通勤には介助が必要です。

そのため、出社するのは週2〜3回。それ以外の日に自宅で働きます。その分の業務内容と時間は月ごとに報告します。西原さんは

■アクロバット

種も仕掛けも無し。こんなことできるの？ハラハラドキドキの連続。



中国雑技芸術団
 想像の上をいく技の数々

九州初上陸！カナダから来た100種類以上のテクニクを持つ2人組

STREET CIRCUS

■ミュージック

生演奏や歌声は街の空気を変え、観客を包むメロディーは心を温めます。



女性歌手4人のコーラス
 EPPAI& マサトモ
 生演奏で手品やコメディーも

■ウォーキングアクト

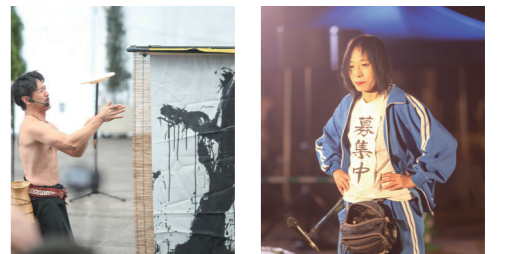
決まった舞台はなく、動き回る芸。街かどから突然非日常が現れます。



不思議の森から来たさすらいの羊
 もののけの世界から来たカップ

■コメディ

お客さんとのやり取りは説明無用の面白さ。思わず引き込まれる場面も。



書道の限界を超えた芸を披露
 青いジャージで奇妙な一人芸

第5回 たまがる大道芸2018 観覧無料 雨天決行

数量限定 たまがる缶バッジ

会場は11カ所
 敏腕プロデューサーが厳選した「たまがる」芸人の面々が、分野の枠を超えた芸を次々に展開します。

会場は六ツ門から西鉄久留米駅東口広場までの約1kmに設けた11カ所。六角堂広場の他、商店街や公園などで同時多発に行います。

17日(土)は12時〜19時30分。18日(日)は11時〜15時。17日の19時から「夜会」と題し、出演した芸人たちが六角堂広場に集合し、観客を巻き込んで大騒ぎに。

缶バッジももらえる
 先着順で、「たまがる缶バッジ」をプレゼント。3カ所ある案内所でアンケートに答えると、一人1個もらえます。

共同特別プログラムも
 まちなか美術館との共同プログラムを17日14時から、六角堂広場で行います。大道芸人とアーティストが、ジャズや舞踏とライブインテュングで競演。どこにも無い作品をその場で完成させます。

「会社の配慮のおかげで、しっかりと役割を果たせています」と話します。以前の職場は、在宅勤務が優れず出社できない日もあり、「家でなら仕事できるの」と思っていました。通院もあることで、与えられた仕事は、存在意義を考えると、存在意義もありません。今は、出勤できなくなっても柔軟に調整できる。与えられた仕事をしっかりとやります。

孤立しやすい側面も

一部には課題も残ります。「いまだに『自宅勤務させてもらっている』と思っ

同社専務取締役の松原涼輔さんは、「通勤や通院など、時間的、物理的な制約を解消することで、任せられる仕事は、質・量共に増えます。本人にも会社にもメリットがあるんです」と話します。

テレワークセミナー
 通勤時間ゼロの働き方

11.18日(日) 10:00-12:00

会場：久留米地域職業訓練センター

対象：久留米市内及び近郊の住民

定員：50名

申込締切：11月14日(木)

費用：無料

申し込み：久留米地域職業訓練センター

TEL: 0942-38-9201 FAX: 0942-43-2964

チラシの裏面に申込書があります。ホームページでダウンロードできます

テレワークセミナー「通勤時間ゼロの働き方」

先進企業である「アマゾンジャパン」のテレワーク推進担当者などを招き、メリットや導入事例を紹介します。

■日時 11月18日(日) 10時〜12時、13時30分〜15時30分

■会場 久留米地域職業訓練センター

■対象 市内か近郊に住み、就職活動している人

■定員 各50人・先着順

■申込締切 11月14日(木)。申込方法など詳しくは同センターホームページに掲載

まちなか美術館 KURUME

寺やカフェなどに、さまざまなジャンルの作品を展示。街なか美術館になります。

11月17日(土) 18日(日)

寺町エリア 11月10日(土) 11日(日)

日吉町エリア 11月17日(土) 18日(日)

ギャラリーアールグレイ 11月10日(土) 18日(日)

☎ 0942-38-6822

✉ kurume.keyaki@gmail.com

みんなのメッセージやとっておきの一枚で盛り上げよう!

#くるたま18

大道芸を自分のSNSのアカウントへ投稿しよう。[#くるたま18]などを付けると、シティプラザ公式SNSアカウントから「いいね」が付くかも??

久留米シティプラザ